

トンボ池等における最近の動き

地域連携活動

- ・学校プールのヤゴ捕獲・トンボ池への放流
- ・アメリカザリガニ外来種駆除

平成22年10月5日

笠松町、木曾川上流河川事務所

プールのヤゴ捕獲・放流

- トンボをシンボルとした環境学習や協働による池の再生を目的に、学校プールのヤゴを捕獲し、トンボ池に放流する活動を行いました。
- 6月2日に下羽栗小学校の児童（5年生・6年生）で捕獲し、6月12日（土）のクリーン活動時に放流しました。



参加した感想など

- プールにヤゴがいるなんて、知らなかった。（児童、教師）
- こんなにたくさんいるとは思わなかった。（児童）
- ヤゴを初めてさわった。結構かわいい。（児童）

プールのヤゴ捕獲・放流



トンボ池の課題や取り組みを事前に説明



放流するヤゴをすくっている様子



自分たちの手で放流



トンボ池を守る会より講話

参加した感想など

- もっとたくさん、放流したい。(児童)
- グループでの放流ではなくて、一人ずつ放流したい。(児童(5年生))
- 将来も記憶に残る良い体験になったと思う。是非来年も実施したい。(教師)

アメリカザリガニ外来種駆除

- 外来種の駆除によるトンボ池等の再生と、駆除を通じた環境学習を目的に、笠松町の夏休み子ども教室の一環として実施しました。
- 2回目となる今年は、7月23日(金)に笠松町の小学生7名、父兄5名が参加しました。



竹林の竹を使つてのザリガニつり



残念ながら今年は釣れませんでした



ザリガニ捕獲用の罟を開けてみる



生き物をさわりながらの講座



アメリカザリガニ外来種駆除

■ ザリガニつりのほか、池の生き物講座や水質の話、シードバンクの水草の植え替えを体験しました。



アメリカザリガニ外来種駆除

■参加者へのアンケートより

参加した感想など

- 車でこんなに近くまで来られるところに、自然がいっぱいあることに驚きです。（父兄（2年生））
- 生きものの講義は子どもにもわかりやすい内容になっていた。生きものを直接さわったり、見たりするのはとても喜んでいました。（父兄（1年生・3年生））
- おもしろかった。水の実験は分かりやすかった。水草の植え替えも初めての経験で楽しんでやっていました。（父兄（2年生・5年生））
- 水草のこと、外来種のこと、自然だからそのままにしておけば良いわけではないことをお話しから知りました。本来の望ましい環境に取り戻すための取り組みは大変なことですが、笠松でそんなことが行われていると知りうれしく思いました。（父兄（2年生））
- 子どもたちがトンボ天国を誇りに思えるとよいと思いました。自然の大切さを家でも話したいと思います。（父兄（2年生・5年生））

竹林伐開について

- 竹やぶがきれいになり、堤防からよく見えるようになった。身近に感じられるようになった。堤防を通るたびに子どもが“トンボ池だ”とうれしそうに言っています。（父兄（1年生・3年生））

今後の取り組みについて

- ザリガニ以外でも何か違う内容で、子どもが楽しく自然にふれあう活動をやってほしい。（父兄（1年生・3年生））
- トンボ池で生息する生きものの保護の為に、子どもができるボランティア活動を通して、ふれあい、学べる場を設けてほしい。（父兄（2年生））